

## 専攻実習 I

講師名	浅川 知則	実務経験等	県農業研究センター・農業改良普及センターでの専門 研究員・普及指導員としての経験を活かし、主要果樹 の栽培管理を通して、生理・生態を理解し、果樹の基 本的な栽培管理技術を習得するための実習を行う。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・果樹	必修	1学年	通年	360	8
使用教科書・副教材	・「いわての農作物病害虫図鑑(Ⅱ)リンゴ・桑編」(社)岩手県植物防疫協会 ・「図解最新 果樹のせん定 成らせながら樹形をつくる」農文協 編 ・自作プリント					
授業の目的	主要果樹の栽培管理を通して、生理・生態を理解し、果樹の基本的な栽培 管理技術を習得する。					
授業の到達目標	主要果樹の基本的な栽培管理技術を理解し、指示の下に栽培管理するこ とができるようになる。					

月	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月	果樹の調査方法	主要果樹の生態調査方法を習得する	18	実習	
	果樹の繁殖技術	ブルーベリー、りんご台木の挿し木、りんごの接ぎ木の方法を習得する			
5月	果樹の大玉生産技術	果樹の摘蕾、摘花、摘果(なし、もも、りんご)方法を習得する	48	実習	
	りんごの結実確保	花粉の採取と人工受粉の方法を習得する			
	ぶどうの管理	新梢管理、雨よけトンネル被覆の方法を習得する			
	ASIAGAP	果樹栽培におけるGAPの仕組みを学びながら演習を取り入れ、その取り組みについて理解する			
6月	果実の大玉生産技術	主要果樹の摘果方法を習得する	34	実習	
	ぶどうの管理	新梢管理、果房整形、ジベレリン処理の方法を習得する			
	ももの管理	着果量調整、袋かけ方法を習得する			
	ASIAGAP	果樹栽培におけるGAPの仕組みを学びながら演習を取り入れ、その取り組みについて理解する			
7月	鳥獣害対策	電気柵の設置方法を習得する	16	実習	
	果樹の大玉生産技術	主要果樹の仕上げ摘果方法を習得する			
	ブルーベリーの管理	枝つり、収穫、調整の方法を習得する			
	防除管理	スピードスプレーヤの操作方法を習得する			
	ASIAGAP	果樹栽培におけるGAPの仕組みを学びながら演習を取り入れ、その取り組みについて理解する。			
8月	果樹の草生管理	ロータリーモア・刈り払い機の操作方法を習得する	26	実習	
	りんごの管理	早・中生種の着色管理、収穫、調整の方法を習得する			
9月	ぶどうの管理	収穫、調整方法を習得する	8	実習	
	ASIAGAP	果樹栽培におけるGAPの仕組みを学びながら演習を取り入れ、その取り組みについて理解する。			
10月	りんごの管理	中晩生種の着色管理、収穫、調整の方法を習得する	46	実習	
	西洋なしの管理	西洋なしの収穫、追熟方法を習得する			
	果実の販売方法	農大祭での対面販売で、販売・接客の方法を習得する			
	ぶどうの管理	雨よけトンネル被覆等の撤去方法を習得する			
	ASIAGAP	果樹栽培におけるGAPの審査に向けた取り組み、及び審査対応。			
11月	りんごの管理	晩生種の収穫・調整の方法を習得する	24	実習	
	果樹の雪害対策	ブルーベリー、ぶどうの雪囲い方法を習得する			
12月	果樹の調査方法	りんごの花芽調査方法を習得する	60	実習	
	卒業研究に向けて	卒業研究のテーマを検討する			
1月	りんごのせん定	せん定道具の使い方、せん定方法の基本技術を習得する	38	実習	
	卒業研究に向けて	卒業研究計画を具体化する			
2月	りんごのせん定	りんごの基本的なせん定方法を習得する	30	実習	
	卒業研究に向けて	卒業研究計画書の作成・内部検討する			
3月	卒業研究に向けて	卒業研究計画書の作成・発表・実行する	12	実習	
合計			360	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

実習中の作業の正確性、早さ、受け答えの内容等から習熟度を評価する。  
 評価割合: 習熟度60%、平常点40%(学習態度、出席状況等)

履修に当たっての留意点等

ほ場での実習が主体となるため、作業着・長靴など作業に適した服装で臨むこと。  
 生育状況によっては、実施時期がずれることがある。天候によっては日程変更する場合がある。